

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月27日更新

事務事業名		防災意識啓発事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	総務課	担当者名	大賀盛博
	施策の柱	1	災害の未然防止対策			所属班	交通防災班	(内線)	1212
予算科目	会計一般	款9	項1	目4	事業連番10014	根拠法令	災害対策基本法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		成果優先度評価結果	①		
						コスト削減優先度評価結果	②		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 市民に広く、防災の重要性を理解してもらい、自ら防災に関する行動ができるよう、啓発する事業である。災害に強いまちづくりを進めるため、災害時に市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、日頃からの心構えを醸成する。 現在は、自主防災組織の設立に力を入れている 年に1回総合防災訓練を実施している。 各地区への防災出前講話の実施
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ①防災訓練の実施 ②住民への講話
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> 職員手当、旅費、需用費(消毛品費)、負担金
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> 総合政策審議会から、市民へ合志市地域防災計画を周知し、災害に備えた地域での取り組みについて、更に指導と啓発を行なうよう指摘があった。 議会から、最悪の状況を想定した訓練実施及び雨天時も代替措置による訓練を実施するよう意見があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> 防災意識の高揚のため総合防災訓練を合志小学校校区(栄地区を除く)の住民に対し実施した。訓練内容は、震度6強の地震発生を想定した避難訓練、消防署による煙避難体験、心肺蘇生法、倒壊家屋からの救出訓練、消防団による消火訓練を実施。地域の方々による災害時炊き出し訓練、土嚢作り・積み方訓練、警察署によるレスキュー車輦の展示、消防団員による体験型放水訓練、避難用品等の展示。社会福祉協議会による災害ボランティアセンター設置訓練。 自主防災組織設立促進説明会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識高揚のため、防災訓練等を実施し啓発に努める。 自主防災組織未設置の行政区に対して8月に研修会を開催する。 	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 防災訓練の実施回数	回	・ 防災意識啓発のため、合志市ハザードマップ作成の印刷製本費の減
→ イ: 自主防災組織設立説明会の実施回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・ 市民		(単位)
		→ ア: 市民
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・ 災害の恐ろしさを認識し、防災力(防災に対する知識と対応能力)を高める。		(単位)
		→ ア: 防災訓練参加者数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
<ul style="list-style-type: none"> 市民等の防災意識の高さを確認する 市総合防災訓練の対象地域人口の2割を目標値とする 		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	0	1	1	1	0
	イ	回	5	10	5	0	5	5	5	0
② 対象指標	ア	人	58,171	59,067	59,200	0	60,100	60,900	61,500	0
	イ									
③ 成果指標	ア	人	286	528	200	0	200	200	0	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		878			80		
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	614		2,307	1,510	1,025	600	600
		(A) 事業費計	千円	614	878	2,307	1,510	1,105	600	600
		(A)のうち指定経費	千円	538	878	1,011	705	923	530	530
		(A)のうち時間外、特勤	千円	176	457	556	263	468	70	70
		(B) 人件費計	千円	2,980	135	2,430	44	2,430	2,430	2,430
人件費	正規職員従事人数	人	25	7	4	3	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	748	34	610	12	610	610	610	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,594	1,013	4,737	1,554	3,535	3,030	3,030		

事務事業名	防災意識啓発事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 当日の早朝から、多くの住民が避難訓練に参加され、防災に対する意識の高揚が見受けられた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 防災に関する啓発を繰り返し、訓練参加を促すことで、向上の余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発に要する事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民へ参加を呼びかけており、また、すべての市民が災害発生時に正しく行動することが必要であるため、本事業を実施することは、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民を対象としての防災訓練及び啓発であり適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

当日の早朝から、多くの住民が避難訓練に参加され、防災に対する意識の高揚が見受けられた。各種訓練で特に救急救命訓練では、熱心に耳を傾ける参加者が多くみられた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						